

令和6年第8回 吉田町教育委員会

- 1 開催期日 令和6年7月24日(水)
開会 午後 2時30分
閉会 午後 4時23分
- 2 場 所 吉田町役場 5階会議室2
- 3 出席委員 塚本 成男 北澤 雅恵
増田 真也 中村 成宏
- 4 議場に出席した者の職氏名 教 育 長 山田 泰巳
学校教育課長 糸田 真男 生涯学習課長補佐 松永 満
学校教育課長補佐 岸端 準成 主席指導主事 水嶋 浩之
指 導 主 事 田中 久美 学校教育課統括 川本 貴浩
- 5 傍聴人数 0人

次 第 (会議録概要)

- 1 開 会
- 2 教育長の報告 資料No.1
- (1) 7月の教育委員会の行事について
(2) 町内教職員の状況 出産について
(3) その他 研修視察の受入れについて ほか
- 3 会議録署名委員の指名 北澤委員
- 4 議 事
- (1) 第10号議案 令和7年度から令和10年度使用の中学校用教科用図書の採択について 資料No.2 【R6/8/31 まで非公開】
- ・事務局説明(榛原地区採択案の説明)
(委員からの意見)

【国語】 光村図書

- ・調査研究結果の報告でもあったように、学習の見通しのもとという欄で、学びへのとびらのところで、学び方の流れが分かりやすく表現されているのはいい。国語の教科書は、近年は、学び方が細かく解説されていて、昔でいうと教員の教科書がそのまま子どもに分かりやすく、学び方まで学ぶことができる表現がされている教科書になっている。
- ・今の生徒が、主体的に学ぶことが重視されていると思うが、生徒自身が単元における学習の要点、流れを抑えることができるので、この教科書は優れていると思う。
- ・単元の手引きが光村の方がレイアウトが非常に見やすく、何をやるのかが分かりやすい。内容も活動的なものになる。

【書写】 教育出版

- ・教育出版の筆遣いが、どのページも多く記載されていて分かりやすいので良い。
- ・書写の場合は、実際問題として、書写で書いたものをどう鉛筆で書けるかということが問題になると思うが、そういったことが配慮されているのが、教育出版と思う。

【地理】 帝国書院

- ・帝国書院の教科書は、配列がいいし、資料が見やすい。位置関係がいいと思う。資料との本のレイアウトが子どもに寄り添っている感じがする。
- ・説明にあったアクティブGの方が、題材が自分事になっていて、分りやすいのではないかと感じた。
- ・とにかく見やすく、関心を引き寄せやすいレイアウトになっているというのは良いと感じた。

【歴史】 帝国書院

- ・これも地理と同じ帝国書院で、目を惹きつけるビジュアルで、イラスト、写真、地図、色合いも含めて、関心を引き寄せるという力は、帝国書院の方に感じる。
- ・資料を基に問題解決をする、課題解決をしていくような構成になっている。
- ・同時代に各世界がどのような関係というか、世界がどのように動いているか関係性を補完できるというのが良い。

【公民】 帝国書院

- ・これは課題解決、テーマが面白いと思う。
- ・アクティブ公民は、実際に身近な題材にしている。
- ・アクティブ公民だけではなく他のところもテーマづくりが面白く興味深く感じる。色遣いが良い。見やすい。

【地図】 帝国書院

- ・帝国書院が資料の量から見やすさから良いと思う。
- ・地図そのものも、色合いというかつくりも見やすい。

【算数】 学校図書

- ・単元の並びを教える順番も少し違って、教えやすいような並びになっている。

【理科】 啓林館

- ・絵も見やすい。
- ・啓林館の方が、資料を使って課題解決するようなつくりになっている。
- ・非常に見やすくできている。形も大きさも写真も全てにおいて、見やすい、イコール分かりやすい。この探究シート、これで生徒が家庭を見通したり、自分の考えをまとめたりすることができるのは、特徴あるシートが入っているので、活用しやすいのではないかと思う。

【音楽一般】 教育芸術社

- ・音楽の要素は大事ですね。意外と分かっていないことが多い。

【音楽器楽】 教育芸術社

- ・この場合はつながり、音楽一般の教科書とのつながりが大事になってくると思う。授業中に分けてやることはないかもしれないので、一つの流れの中でやっていくので、つながりを意識することが大事だと思う。

【美術】 開隆堂

- ・生徒が興味を持ってみるができる。
- ・迫力もある。
- ・参考になる生徒の作品の量も豊富で、興味をそそられる作品が多いと思う。
- ・生徒の作品のレベルが高いイメージがある。

【保健体育】 大修館

- ・説明とレイアウトが見やすい。ちょっとした書く欄があつて、考えながら学習ができると思う。

【技術】 開隆堂

- ・進め方はしっかり書いてありますが、説明が少し足りない感じがする。
- ・同じテーマのところを比較して、圧倒的に、開隆堂の方が見やすい。自分で進めやすいということか。

【家庭】 開隆堂

- ・実習分野の量が多いと解説されているが、実習が多いことは、学びへの対応を広げる上で大切なことだと思う。実習が多いというのは、学びを幅広くできる可能性があるということだと思う。
- ・技術と同様に、説明は開隆堂の方が細かくいろいろ見やすく説明されていると思う。
- ・持続可能な社会と災害に関して詳しい。分かりやすい。

【英語】 東京書籍

- ・東京書籍は一番初めのページは、教えることと単元が結びついていて、もう一

方は割合ばらっとしていて、あまりまとまっている感じがしない。東京書籍の方が単元をやりながら学ぶような構成になっていると思う。

- ・東京書籍の方は、テーマが実生活に近いので、興味を持って取り組めるのではないかと思う。
- ・文をつくるというのも、東京書籍の方が充実していると思う。文つくりみたいなのところがあると思うので、そういうところも充実していると思った。

【特別な教科：道徳】 日本文教出版

- ・日本文教出版の方がバランスの取れた資料が含まれている。読み物だけが充実しているのではなく、いろいろな価値があるものがバランスよく入れられていることが大事だと思う。手引きが広い視野になっているものの方が、指導する上でも、考える上でもいろいろな価値が出てくると思う。

採決（国語→光村図書、書写→教育出版、地理・歴史・公民・地図→帝国書院、
数学→学校図書、理科→啓林館、音楽一般・音楽器楽→教育芸術社、美術→開隆堂、保健体育→大修館、技術・家庭→開隆堂、英語→東京書籍、
特別の教科道徳→日本文教出版）

⇒ 異議なし ⇒ 榛原地区採択案のとおり同意

(2) 報告事項

ア 生徒指導について

【非公開】資料No.3

イ 令和5年度吉田町教育委員会事務事業点検・評価について 資料No.4

(委員からの質疑・意見)

- ・特になし

5 その他

- ・教育委員報告
- ・令和6年度教育委員会視察について
- ・吉田中学校の新制服について
- ・委員の任期の終了について
- ・ちいさな理科館における不正アクセスによる個人情報の流出の可能性がある事案の発生について
- ・今後の教育委員会等の予定について

6 閉会